■東京ダービー(SI)アラカルト(過去 10 年の分析)

※記録は5月15日時点のもの

- ■羽田盃の優勝馬は2勝、3着2回
- ※羽田盃の優勝馬は10頭すべてが出走して2勝、3着2回
- ■羽田盃と京浜盃両制覇の馬は4頭が出走して2勝、3着1回
 - ◇第53回8着 トップサバトン(2番人気)
 - ◇第55回3着 ナイキハイグレード(2番人気)
 - ◇第 57 回優勝 クラーベセクレタ(1 番人気)
 - ◇第 60 回優勝 ハッピースプリント(1 番人気)
 - ※優勝馬2頭はいずれも1番人気馬だった。

■羽田盃優勝でも、京浜盃不出走あるいは2着以下は不振

- ※上記ケースで6頭が出走して3着が1回だけ。
- ◇第 52 回 3 着 サンキューウィン(京浜盃不出走・羽田盃 1 着)
- ◇第 54 回 10 着 ニックバニヤン(京浜盃 10 着・羽田盃 1 着)
- ◇第56回4着 シーズザゴールド(京浜盃2着・羽田盃1着)
- ◇第 58 回 5 着 アートサハラ(京浜盃不出走・羽田盃 1 着)
- ◇第 59 回 6 着 アウトジェネラル(京浜盃 2 着・羽田盃 1 着)
- ◇第61回7着 ストゥディウム(京浜盃11着・羽田盃1着)

■羽田盃不出走組は3勝、2着3回で連対率30%と健闘

- **◇第52回優勝 ビービートルネード(特別戦を連勝)**
- ◇第 54 回優勝 ドリームスカイ(東京湾カップ 4 着)
 第 54 回 2 着 モエレラッキー(クラウンカップ 1 着)
- ◇第 55 回優勝 サイレントスタメン(クラウンカップ 1 着)
 第 55 回 2 着 ブルーヒーロー(東京湾カップ 3 着)
- ◇第 58 回 2 着 プーラヴィーダ(兵庫チャンピオンシップ 3 着)

■上位1~3番人気馬で4勝と低調

- ◇1 番人気馬 3 勝、2 着 1 回、3 着 1 回。3 着内率 50.0%
- ◇2 番人気馬 0 勝、2 着 1 回、3 着 4 回。3 着内率 50.0%
- ◇3番人気馬 1勝、2着1回、3着1回。3着内率30.0% ※上位人気馬3頭によるワンツーは1回。

■人気薄(6番人気以下)の優勝馬5頭中4頭が前走3着以内を確保

- ◇第52回 ビービートルネード(12番人気) ハナミズキ特別1着
- ◇第 54 回 ドリームスカイ(10 番人気) 東京湾カップ 4 着
- ◇第55回 サイレントスタメン(8番人気) クラウンカップ1着
- ◇第58回 プレティオラス(6番人気) 羽田盃3着
- ◇第 61 回 ラッキープリンス(9番人気) 羽田盃 3 着

■全日本2歳優駿の3着内馬に要注意

- ※9 頭が出走して2 勝、2 着2回、3 着3回。3 着内率77.8%の好成績。
- ◇第 53 回優勝 アンパサンド(同 3 着)

第53回2着 フリオーソ(同1着)

- ◇第55回3着 ナイキハイグレード(同3着)
- ◇第57回3着 キスミープリンス(同3着)
- ◇第 59 回 2 着 ジェネラルグラント(同 2 着)
- ◇第 60 回優勝 ハッピースプリント(同 1 着)
- ◇第60回3着 サーモピレー(同3着)
- ※昨年の全日本2歳優駿の3着内地方馬はアンサンブルライフの3着

■東京ダービートライアル優勝馬は苦戦

◇平成22年から新設された東京ダービートライアル(第1回は1、2着に、第2回以降は優勝馬に東京ダービーの優先出走権を付与)の優勝馬は、③、⑧、⑩、⑪、②、⑬着。苦戦が続いているが、一昨年は2着を確保。

■ホッカイドウ競馬の出身馬が5勝と大活躍

- ※5 勝、2 着 4 回、3 着 3 回。
- ※なおJRA出身の優勝馬は第56回のマカニビスティーのみ。

■優勝馬には高い実績が求められる

- ◇優勝馬 10 頭中 7 頭は重賞勝ち、あるいは羽田盃で連対
- ※例外の3頭は第52回優勝のビービートルネード、第54回優勝のドリームスカイ、第58回優勝の プレティオラス。
- ◇優勝馬 10 頭中 5 頭が連対率 50%以上の実績
- ※例外馬5頭の連対率は下記の通り。
 - 第 52 回優勝 ビービートルネード(連対率 46.2%)
 - 第 54 回優勝 ドリームスカイ(連対率 44.4%)
 - 第 55 回優勝 サイレントスタメン(連対率 45.5%)
 - 第 58 回優勝 プレティオラス(連対率 30.8%)
 - 第 61 回優勝 ラッキープリンス(45.5%)

■連対馬20頭中16頭が前走3着以上

- ※例外馬4頭は下記の通り。
- ◇第54回優勝 ドリームスカイ(前走4着。2歳時に平和賞2着)
- ◇第56回2着 ガナール(前走11着。2歳時に3連勝)
- ◇第 59 回 2 着 ジェネラルグラント(前走 4 着。京浜盃優勝)
- ◇第61回2着 パーティメーカー(前走6着。JAR戦に4度も果敢に挑戦)

■前2走とも掲示板(5着)を外していた馬は苦戦

※3 着内馬 30 頭中 29 頭が、どちらかで掲示板を確保していた。

(例外馬1頭は第56回2着ガナール)

※また3着内馬30頭中26頭が、どちらかで3着以内を確保していた。

(例外馬 4 頭は第 54 回優勝ドリームスカイ、同 3 着コラボスフィーダ、第 56 回 2 着ガナール、第 61 回 2 着パーティメーカー)

■外国産馬の優勝はなし

※2頭が出走して優勝はなし。

■牝馬は1勝、3着1回

- ※14 頭が出走して、第57回優勝のクラーベセクレタ1勝のみ。
- ※第 58 回はエミーズパラダイスが 3 着。

■川崎所属馬が4勝でリード

TCK所属馬 3 勝、2 着 4 回、3 着 2 回。3 着内率 30.0% 船橋所属馬 2 勝、2 着 2 回、3 着 6 回。3 着内率 33.3% 川崎所属馬 4 勝、2 着 3 回、3 着 1 回。3 着内率 26.7% 浦和所属馬 1 勝、2 着 1 回、3 着 1 回。3 着内率 10.0%

■優勝馬の馬体重の増減は、ひと桁が理想

※優勝馬 10 頭中 9 頭が±5 キロ以内。残り1 頭も±10 キロ以内。

※3 着内馬 30 頭すべてが±10 キロ以内。

■逃げ切りの勝利はなし

※3 着に逃げ粘ったケースは 2回。

第 52 回サンキューウィン(2 番人気)と第 56 回マグニフィカ(3 番人気)。

■ジャパンダートダービーとの関連

- ◇東京ダービー優勝馬は、不、②、④、⑦、不、失格、⑥、④、②、③着で、馬券圏内は3頭だけ
- ◇東京ダービーで敗れ、JDDを制したのは2頭だけ
 - ※第 53 回 2 着 フリオーソ→JDD1 着、第 56 回 3 着 マグニフィカ→JDD1 着。
- ◇東京ダービー4 着以下からの巻き返しは 1 頭だけ
 - ※第 58 回 5 着 アートサハラ→JDD3 着

■戸崎圭太騎手が4勝で圧倒

- ※戸崎圭太騎手は9戦4勝、2着0回、3着3回。
- ※的場文男騎手は通算 34 戦して未勝利。

■森下淳平調教師が2勝

- ※森下淳平調教師は第58回、第60回で優勝。
- ※川島正行調教師の通算5勝は、出川己代造調教師に並ぶ最多勝利タイ。

■ 9番、 10番、 13番が 2勝ずつ

馬番号	1	2	3	4	(5)	6	7	8	9	10	11)	12	13	14	15)	16
1着	0	0	0	1	0	0	0	1	2	2	0	1	2	0	1	0
2着	0	0	1	2	0	0	2	1	1	0	0	0	1	1	0	1
3着	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1

■東京ダービー(S I)アラカルト(過去全 61 回の分析)

- ※第1回から第9回までは春の鞍競走で実施
- ※第 10・11 回は東京都ダービー競走で実施
- ※第 13 回から第 44 回までは 2400mで実施
- ※記録は5月15日時点のもの

■1番人気馬が24勝で、勝率39%

- ◇1 番人気馬 24 勝、2 着 6 回、3 着 8 回。3 着内率 62.3%
- ◇2 番人気馬 8 勝、2 着 16 回、3 着 13 回。3 着内率 60.7%
- ◇3 番人気馬 10 勝、2 着 12 回、3 着 5 回。3 着内率 44.3%

■上位人気馬3頭による優勝確率は68%

- ◇61 回中 42 回は 3 番人気以内の馬による優勝(68.9%)
- ◇61 回中 25 回は 3 番人気以内の馬によるワンツー(41.0%)
- ◇61 回中 42 回は 5 番人気以内の馬によるワンツー(68.9%)
- ◇61 回中 9 回は 3 番人気以内の馬によるワンツースリー(14.8%)

■羽田盃と東京ダービーを制した馬は25頭

- ※25 頭中下記の 7 頭が 3 冠馬に輝いた。
- ◇第 13 回 ヒカルタカイ
- ◇第21回 ゴールデンリボー
- ◇第24回 ハツシバオー
- ◇第 29 回 サンオーイ
- ◇第32回 ハナキオー
- ◇第 35 回 ロジータ
- ◇第 47 回 トーシンブリザード
- ※羽田盃不出走で東京ダービーを優勝した馬は9頭。

■無敗のダービー馬は2頭だけ

- ◇第 47 回 トーシンブリザード
- ◇第 50 回 アジュディミツオー

■牝馬の優勝は5頭

- ◇第1回 ローヤルレザー
- ◇第 11 回 ヒガシユリ
- ◇第 35 回 ロジータ
- ◇第 37 回 アポロピンク
- ◇第 57 回 クラーベセクレタ

■外国産馬の優勝は2頭

- ◇第1回 ローヤルレザー
- ◇第51回 シーチャリオット

■現役最多勝利騎手は石崎隆之、戸崎圭太が4勝で並ぶ

- ◇最多勝利は赤間清松騎手の 6 勝
- ◇的場文男騎手は34戦して未勝利(2着9回、3着4回)
- ■川島正行、出川己代造調教師が5勝で最多勝利

■⑤番と⑨番が6勝でトップ

馬番号	1	2	3	4	(5)	6	7	8	9	10	11)	12	13	14)	15)	16)
1着	3	4	3	4	6	4	3	2	6	5	5	5	5	2	4	0
2着	3	2	5	10	3	4	7	7	3	4	3	1	3	1	3	2
3着	5	3	4	4	2	8	3	4	3	6	4	5	1	5	0	4

- ※大外16番だけが優勝馬を出していない。
- ※2着は④番が10回でダントツ。

■6枠の12勝、5枠の10勝が優勢

枠番号	1	2	3	4	⑤	6	7	8
1着	5	5	7	8	10	12	8	6
2着	5	11	5	11	11	5	6	7
3着	7	6	8	7	7	12	5	9